

七夕の日に思う

校長 佐野 眞吾

七夕と聞いて誰でも思い出すのは織姫と彦星の話だと思いますが、元々は古来の神事において、神様が着る着物を織った機械のことを棚機（たなばた）と呼んだのが始まりです。仏教伝来後、お盆を迎える準備として旧暦7月7日（現在の8月7日）の夜に行われるようになり、機織りの仕事をする女性を織姫、牛飼いの男性を彦星としていつの間にか次のような伝説が生まれます。

「働き者だった二人が天の神様に引き合わされ、仲の良い夫婦になったものの遊んでばかりで仕事をしなくなり、神様が怒って二人を天の川の西と東に引き離れたところ、織姫は泣き暮らすばかり、彦星は家に閉じこもってしまい、思案した神様は以前のように毎日真面目に働くなら、一年に一度だけ逢うことを認めようということになりました。7月7日に逢えることを楽しみに二人は一生懸命に働くようになった。」という物語です。江戸時代、寺子屋で庶民も文字を習うようになると、この伝説に習い、邪気を払う役目をすると考えられていた笹に手習いごとの上達を願って短冊をつるすという風習が定着します。

今年も本校事務室には職員によるささやかな七夕飾りがつるされています。このような節目に、去年の願いはどうだったかなと思い出すとき、少しは願いが叶っているかなと実感できる自分でありたいし、学校でありたいと想います。

一年は早いもので、来年の七夕もきっとあっという間に来るので一日一日を大切に過ごしていきたいものです。



6月19日小中一貫教育研究会が行われました。



中学校のすべての授業を小学校の先生方が参観されました。



授業参観後、教科ごとの小中連携について話し合いました。



6月26日 地区懇談会が行われました。



地区懇談会は中学校の教室と地域の会場を使って9地区がそれぞれにテーマを決め、話し合いを行いました。

今年度はスマホについて、通学路の安全、防災について、子供からの SOS サインについて、子どもと地域の輪などのテーマのもと各分科会で活発な意見交換が行われました。企画・運営に携わったみなさん、ありがとうございます。

横浜市国際平和スピーチコンテスト（区予選）が行われました。

7月2日、学校代表として参加し、優秀賞を受賞した3年5組 波戸崎 舞さんの発表原稿の一部を紹介します。

伝える

波戸崎 舞

私は宮城県の学校でいつもと変わらない授業、生活をしていました。あの一瞬の出来事でいつもの生活が百八十度変わってしまいました。今まで当たり前のように使っていた水道・電気・ガスが使えなくなり・・・一番困ったのはトイレです。バケツに水をくんで流していました。この経験で知った

ことは自然の力の大きさ、自然に対する人間の無力さでした。人の力で自然災害を止めることはできないのです。けれど自然災害が起こるまで私達は何もできないかという、そうではありません。私達は考えるという力があります。災害を想定して備えることができます。津波が来そうな場所に住んでいたら避難場所や避難経路を確認する。その他にも非常食を準備しておくことや、懐中電灯をすぐ使えるようなところに置くなど、様々な備えができます。どれも簡単なことですが実際に震災を経験して、備えるということは自分の命を左右するほど大切なものだと知りました。



震災直後は日本の治安の良さやボランティア活動についてたくさん報道されました。四年たった今、皆さんの中で東日本大震災のことが風化されていませんか。横浜で暮らすようになり、私は風化していると感じています。それはテレビや新聞で震災のことを取り上げる量が減ったからです。今、テレビで報道されているのは復興した様子ばかりですが、それは一部のことで、現実は復興していないところがほとんどです。では、中学生には何もできないのでしょうか。私はそうは思いません。みんなの知恵をしばれば大きな力になります。だから考えましょう。自分に何ができるかを。

私には自分の経験を伝えることができます。自然災害は世界のいろいろなところで起きています。伝えることで災害に備えることや復興のために協力していくことがもっと必要だということが世界に広まる。これが私にできる平和への第一歩だと思います。

6/29 (月) 生徒総会が行われました。

予算や活動計画について熱心な討議が行われました。生徒会本部からは自販機にスポーツドリンクを導入する事を学校に要望することが提案され、可決されました。



7/3 (金) 非行防止講演会が行われました。



DoCoMo携帯教室



神奈川県警察本部非行防止教室

DoCoMo携帯教室では携帯電話やスマートフォンの危険や安全な使い方について、話がありました。また、警察の非行防止教室では、薬物防止や夏休みの過ごし方など少年非行全般について話がありました。生徒全員が集中して話を聞いていました。

夏の総体、コンクールに向けて

サッカー部

サッカー部は、1年生24人、2年生13人、3年生19人の56人で活動していきます。7月11日に市ヶ尾中学校で行われる市総体を勝ち抜き、県大会に出場できるようにチーム内でも意識を高めあっていこうと思います。応援よろしくをお願いします。



演劇部

7月25日(土) 26日(日)に横浜市中学校演劇発表会(中部地区)がいずみ中央駅のテアトルフォンテで行われます。西谷中は、26日の午前中に発表しますが、中学生が本格的な劇場を使用させていただけるこの機会を大切に、素敵な舞台を創り上げたいと思います。

水泳部

7月21日、22日に全国中学校水泳県予選会が行われ、29、30日に市大会。8月10～12日に関東大会。14、15日に県大会。17～19日に全国大会。29日に区大会が行われます。冬季も休むことなく練習を続けてきました。今まで練習してきた成果を発揮し、一人一人が自己ベストを出し、最高の成績を収められるように頑張ります。応援よろしくお祈いします。



バレーボール部

7月12日(日)から横浜市総合体育大会が始まります。12日は、樽町中学校会場で、1回戦 鶴ヶ峰中学校と対戦します。3年生は、5人と少ないですが、後輩たちと協力してひとつでも勝ち上がれるように頑張ります。応援よろしくお祈いします。



柔道部

7月11日、12日に市大会の個人戦、7月19日に団体戦が行われます。今まで積み重ねてきたものを生かし、上位に入賞し、県大会に出場することが目標です。応援よろしくお祈いします。



6月に行われた大会の結果

柔道部：5月 9日スプリングカップ(団体戦) 男子ベスト16 敢闘賞
5月17日神奈川県春季大会(個人戦) 2年 栗原城太郎 4人抜き 敢闘賞
2年 三村陵馬 3人抜き 敢闘賞

生徒指導専任 中村 悟

今年の地区懇談会は、参加人数185名でした。内容に関しては、地区ごとにテーマを設定しどの地区も大変充実したものになりました。

今後も、世代を超えて子どもたちの健全育成を目標に充実した懇談会を企画していきたいと思ひます。ありがとうございました。

新しい先生を紹介しします。

がやっこ先生(横浜国大の学生)
佐野 菜実

(勤務：毎週木曜日)

理科の授業(実験)を中心に学習を支援しします。